ちくほう

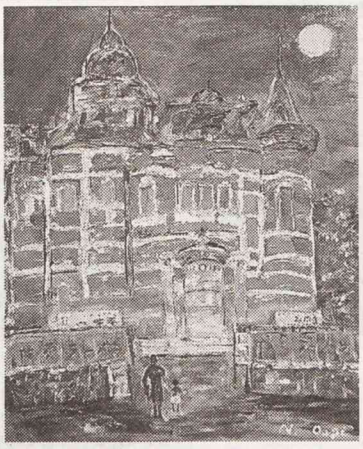
はがきごしら

築までの毎月第一日曜、旧駅舎に感謝を込めて清掃活動を行う」とファクスが届いた。文には「駅の保存を目指しているわけではない」とただし書きも付いており、解体を前提とした観光振興を図る考えがにじんでいた。

二つの団体の目指す方向は駅保存と解体で大きく異なるが、表現は「駅への感謝」で一致した。両者の慎重な言い回しに、解体予定まで1年を切ってなお主張が対立する駅問題の繊細さを感じた。（和田）

ンで開かれている。筑豊地区を中心に県内から寄せられ、県知事賞の大城成美さん（飯塚市）の油彩画「博多の暮景」をはじめ、水彩画や写真など約80点が並んでいる。

同祭は毎年秋に開催され、今年で43回目。主催する飯塚文化協会飯塚の



県知事賞に選ばれた大城成美さんの「博多の暮景」

かけている。書道部門は、県知事賞の高野由美子さん（飯塚市）の作品をはじめ、3～7日に力作が展示された。

各部門の主な入賞者は次の通り。（敬称略）

【絵画】飯塚市議会議長賞＝坂口美代子（嘉麻市）▽県教育委員会賞＝上川理恵（飯塚市）▽飯塚市教育委員会賞＝那須

厳島神社で獅子舞披露

有井地区

【飯塚市】有井地区で10月31日、獅子舞が行われました＝写真。

今年は宝くじ助成事業の補助金が交付され、獅子の衣やのぼりを新調したり、猿田彦の面の修理などをして獅子舞をすることができました。

当日は、鹿毛馬の厳島神社へ参内し、奉納舞を行いました。

台風の影響でいつ雨が降り始めるかわからない状況でしたが、獅子舞が行われていた間は雨が降らず、終わった途端に雨が降り出した不思議な1日で、出雲から神様たちが見に来てくれたのではないかと参加者全員で喜んでいました。

道中では予定していなかった家からも声がかかり、予想以上に、盛況のうちに無事執り行うことができました。来年はまだまだ多くの人たちが獅子舞になれ親しんでもらえるよう頑張っていきたいと思っています。（篠崎正史リポーター）

80人が自然観察会

高座石寺付近

【香春町】香春の高座石寺付近で10月23日、自然観察会がありました＝写真。小学生を始め約80人が参加。①植物観察（香春岳二～三の岳）②植物観察（コケ植物）③野鳥観察（呉ダムなど）④水生生物観察（清瀬川中心）の4グループで、専門の方々が観察指導をされました。

植物観察「コケ植物」グループは、高座石寺付近で「つくし植物友の会」の崎山欽一郎先生の指導を受けました。大岩や石垣、木の下などに生えるコケから観察。崎山先生は、コケ植物の見分け方、コケの体のつくり、増え方など、採集標本を見せながら、また、手持ちの顕微鏡をのぞかせながら説明されました。

また「香春岳には石灰岩産地特有のコケがあ

嘉穂LCポスター展

清水さんに最優秀賞

【嘉麻市】10月28日に、大隈町の夢サイトかほで、嘉穂ライオンズクラブ（LC）の国際平和ポスター表彰式がありました＝写真。

本年度のテーマは「平和へのビジョン」。嘉穂・碓井地区の小学校7校で124人が参加し、嘉穂LC最優秀賞に碓井小

希望の集ひ ～私のメッセージ～

嘉穂東高100周年

凛とした女性、目標に

《花野豊子さんと青野（旧姓高取）和代さんは1946年、嘉穂高等女学校に入学。学制改革をはさみ、嘉穂東高と合わせて計6年間通った》

入学後まもなく、福住タナ子先生が約50人の生徒を集めて体操部を立ち上げました。一つ上には、後にヘルシンキ五輪（52年）の体操女子代表に内定した金光澄子さんもいらっしゃいました。

花野 豊子さん（76）＝飯塚市大日寺
青野 和代さん（76）＝飯塚市鯰田

高校時代、国体・総体ともに団体3連覇を果たした花野さん（左）と青野さん

当時の学校にあったのは跳び箱と平均台、薄いマットだけ。毎日ひたすら柔軟体操をしました。

《腹ばいから足を肩越しに床につけて立ち上がるなど、さまざまな技を自分たちで考えた》

素人で、限界が分からず、「もっと練習すればできるはず」と、どんな技にも挑戦。おかげで国体、高校総体ともに団体3連覇を果たしました。

《だが、代表に内定していた金光さんは五輪に出場できなかった》

資金不足で、代表に選ばれたけど出場できなかった女子選手は多かったと聞きます。そんな時代だったのですね。体操を続けることなんてはしたない」などと家族にも反対されましたが、福住先生が何度も家に来て家族を説得してくれました。

だんだん周囲の理解も得られ、近くの小学校の運動会では模範演技も披露しました。厳しい練習や周囲の反対を乗り越え、体操に打ち込めたのは福住先生のおかげ。先生のように、凛とした女性になりたいと頑張りました。今の生徒さんも、そんな目標となる先生や大人を見つけられたら幸せですね。